

ありて

わたしの未来はわたしが創る

こんにちは。
わたしが“ありて”を
ご案内します。

「ありて」は
自分の方で
問題を解決していく
イギリスの童話
「アリーテ姫の冒険」の
主人公の名前です。



18 号
2005年9月

高岡市男女平等推進プラン情報誌

◆特集 お父さんのワーク・ライフ・バランス



もくじ

- まちのかわら版／ファミリー・サポート事業
- センター登録活動団体紹介
- わかいもん／中山孝志さん
- セピア色の写真から／渡邊はりいさん
「県内初の女性記者」
- へらすま／男女平等EXPO高岡

お父さんのワーク・ライフ・バランス 応援します!子育て世代

子育て世代の女性は、仕事や家事・育児など朝から晩まで大忙し。富山県は共働き率が全国3位ですが、夫が忙しくて、「なかなか分担してもらえない」という人も少なくないのでは？

全国統計によると、子育て期にある30代男性の4人に1人が、週60時間以上の労働に従事しています。また、平日の父親の帰宅時間が午後11時を過ぎる割合が北陸では12.7%です。

次世代育成支援という視点から、まず行政が率先して、高岡市は男性職員の育児休業等の取得率5%を目標に掲げました。また、富山県でも男性職員に対し、積極的な育児参加を促しています。

もちろん、それは民間企業にも拡がるのが期待されることです。しかし、男性にとっては雇用環境そのものが厳しく、不況とそれに伴うリストラや配置転換によるストレスも大きいと報告されています。

また、中高年男性の自殺の増加ということがよく聞かれますが、30代でも自殺が近年急増し、年間3千人を超えていることも、現代の男性の働き方・生き方に警鐘を鳴らしているといえます。

「男はつらいよー」という声が聞こえてきそうですね。当事者である男性自身の本音はどうでしょう？高岡市内にお勤めで、子育て世代の男性4人のワーク・ライフ・バランスについての声を紹介します。



僕たちはどう思う

- ① 労働時間(平均)
- ② 育児休暇は？
- ③ 子育ての分担は？
- ④ ひとこと

パートナースhipが大切

Aさん

会社経営・30代
子ども2人



- ① 13H
- ② 当時は管理職だったので、仕事を休めなかった。
- ③ お互い仕事をしながら、無理なく続けられる方法で、協力し合う。
- ④ いい所だけではなくお互いを認め合う、パートナースhipが大切。役割分担など、当たり前だと思っていたことを見直すことも大事。

経済的に、育児は難しい

Bさん

会社員・30代
子ども1人



- ① 12H
- ② 経済的なことを考えると自分が働いた方が良いので取得しない。
- ③ 協力するが、子育て・家事は、妻に任せている。
- ④ 男性も女性も自分に与えられた仕事に、責任を持って取り組む事が大切なのは。

妻が反対したから

Cさん

公務員・30代
子ども1人



- ① 8H
- ② 妻の反対があり、取得しなかった。
- ③ 子育て・仕事どちらも手を抜かず両立させる。
- ④ 男だからとすべて一任された時や妻の両親の老後や経済的に家族を支えることなどを期待されるのがつらい。

仕事にやりがいでも…

Dさん

営業・30代
子ども1人



- ① 13H
- ② ところない。妻が取得中
- ③ 休みの日におむつ替えやお風呂に入れたりしている。
- ④ 仕事が忙しいので、家庭を顧みられないことが、男はつらいと思う。

ワーク・ライフ・バランスって何？

企業戦略として生まれた概念。仕事と家庭生活をうまく調和させることをいいます。女性が仕事と家庭の両立をしやすい環境を整えるだけでなく、男性も育児や家事に責任をもつこと、さらに独身の人や、子どものいない既婚者などすべての個人が仕事と私生活をバランスよく充実させることを目指すものです。多くの企業でも取り入れられており、男女共同参画社会を形成する上でも重要な課題です。

育休とりました



公務員・20代
子ども1人

- ①10H
- ②次回も取得したい
- ③話し合っ決めて
- ④男女は平等なれども同じではない

高岡市は、今年3月に「市職員子育て支援プログラム」を策定しました。時を同じくして男性市職員では初めて育児休業を取得された山村紘次さんにその感想を聞いてみました。

「産後の妻をゆっくり休ませてあげるために、産院より退院後、15日間の育児休業を取得しました。有休は子どもの病気の時など、今後のために取っておくことにしました。親の世代にはまだまだ男性の育児休業取得に抵抗があるみたいで、最初は取得を反対されましたが、孫の顔を見たらそんなことは忘れたみたいですよ。」

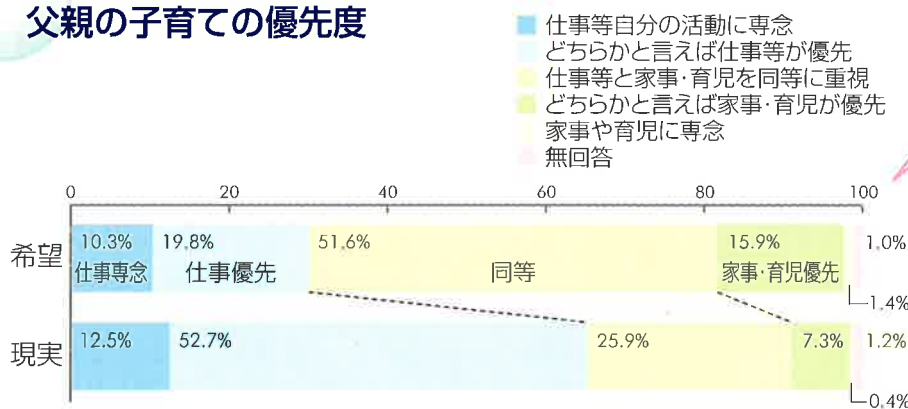
「休業中は、子どものゲップ出し・おむつかえ・入浴等を担当しましたが、おっぱいがでない自分が残念」と、新米パパさんらしい発言。

「里帰り出産で、しばらく経ってから育児をスタートするお父さんは損をしていると思います。生まれた直後から子どもとじっくり関わる中で、父になる様々な葛藤(自分で出産しないのでいろいろあるのだそうです)に向き合えますし、何より子どもの成長のスタートを実感できます。」と、これから育児休業取得を考える人にも、是非聞いてもらいたい体験談でした。

今は仕事に復帰されていますが、職場の温かい理解に随分助けられたとか。

今後は出産を機に同居を始めたご両親の協力を得ながら、共働き育児を実践されるそうです。

父親の子育ての優先度

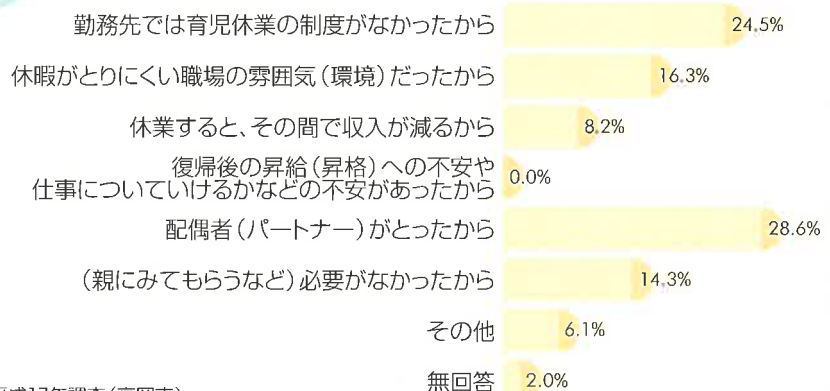


厚生労働省委託調査「子育て支援策等に関する調査研究報告書」(平成15年)より未就学児を持つ世帯の父親を対象としている。

子育てと仕事を両立(または優先)したくても、できないという現実があります。

パートナーが取得したという理由以外に、勤務先の制度や雰囲気などが理由としてあげられています。

男性の育児休業をとらなかった理由



平成17年調査(高岡市)

「子育てにももっと関わりたいけれど、仕事が忙しくて、休みの日に家族と過ごすのが精一杯」という男性が多いのが現実のようです。
「働き方」そのものを見直さないかぎり、根本的な解決は難しいようにもみえます。
次の頁では、国・県の支援をまとめてみました。

国では...

次世代育成支援対策推進法

急速な少子化の進行に歯止めをかけ、子育てしやすい環境づくりのために、全国の従業員301人以上の企業(300人以下は努力義務)や自治体に、具体的な行動計画の策定を義務づけられました。富山県内の企業の届出率は6月末で77.1%となっています。また、300人以下の企業(努力義務)では、15社にとどまっています。

ファミリー・フレンドリー企業の表彰

- ①法を上回る基準の育児・介護休業制度を規定。
- ②仕事と家庭のバランスに配慮した柔軟な働き方ができる制度がある。
- ③仕事と家庭の両立を可能にするその他の制度を規定。
- ④仕事と家庭の両立がしやすい企業文化をもつこと。実際の利用があることも条件に、こういった制度をもつ企業を表彰しています。

富山県内ではオーアイ工業(株)、YKK(株)黒部事業所、(株)インテック、(株)チューエツ、(株)富山富士通が「富山労働局長賞」を受賞。

NEW

「元気とやま!仕事と子育て両立支援企業」の表彰

仕事と子育てを両立しながら働くことができる職場環境づくりに積極的に取り組み、その成果をあげている県内企業を表彰。(平成17年より)

- 育児休業が取りやすい雰囲気づくり
- ノー残業デーの実施や年次有給休暇の取得促進
- 子育て支援活動への参加など地域貢献活動の実施など

☆「次世代育成支援対策推進法」に基づく「一般事業主行動計画」を策定・届出した企業が対象です。

「男女共同参画」の生み出す社会的効果は、「女性の優れた能力や視点を活かし、企業が競争力を高める」ことだけではありません。男性にも、仕事一辺倒ではなく育児や趣味などプライベートをより充実してもらうこと、つまり個人としての幸福の追求・働き方の見直しという一面もあります。しかし、高岡市内の企業では、まだまだ、育児支援や家庭生活との調和をはかる環境整備が、企業利益と対極にあるものとして捉えられているところが多いようです。むしろ、こういった男女共同参画推進こそ、社員のやる気を引き出して生産性を高めたり、優秀な人材を集めることを可能にしたりします。さらには消費者から見たイメージアップにつながるなど、国内の先進的な企業では、企業利益を生み出している実例も少なくありません。企業の取り組みと行政的支援が一層、望まれるところ

です。男性も女性も仕事を続けながら、子育ても家事もあたりまえにできる、そんな高岡市になるといいですね。

こんなにあります! 国や県の支援

働きやすい職場環境の整備、子育ての支援など、女性だけでなく男性も能力を最大限かつ継続的に発揮するための、ワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭生活の調和)を実現する上でも、有効で具体的な法律や施策がどんどん作られています。



男女共同参画チーフ・オフィサー(CGEO)設置事業

企業の「男女共同参画推進最高責任者(チーフ・オフィサー)」が、トップダウンで男女共同参画を推進するため、県内44社の役員クラスの人が就任。一定水準の成果が認められると「男女共同参画推進事業所」として認定されます。

高岡市内に本社がある事業所では、伏木海陸運送(株)、第一ファインケミカル(株)、(株)タカギセイコー、(株)ニチイ学館高岡支店の4社。

男女共同参画推進認証事業所

認証要件は、

- ①チーフ・オフィサー(CGEO)を設置していること。
- ②労働基準法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法等関係法令の遵守と、必要な措置が実施されている。
- ③女性の管理職登用及び男女労働者の仕事と家庭の両立支援のため法を超える制度の整備、委員会の設置又は行動計画の策定等、具体的な取り組みが行われている。

県内6社が認証され、高岡市内では伏木海陸運送(株)が認証されています。



高岡市では7月からファミリーサポート事業が始動しました。

仕事に頑張っている人や、家庭の都合で子育てを手伝って欲しい人を支援する事業です。この事業は、依頼会員(子育てを手伝って欲しい人)が高岡市ファミリー・サポート・センター(以下センター)に依頼して協力会員(子育てを手伝いたい人)を紹介してもらい、援助を受けることができる事業です。依頼会員も協力会員もあらかじめセンターに登録が必要です。今すぐ利用がなくても登録(無料)が済んでいれば、協力して欲しいときにいつでもスムーズに援助してもらえます。安心して子育てができるように、地域の支援が広がっていくといいですね。詳しいことはセンター(アバンサルプラザ高岡)にお問い合わせください。

こんな方が会員登録できます

- 協力会員
(子育てを手伝いたい人)
 - ・市内に住んでいる人
 - ・自宅で子どもを預かることができる人
 - ・心身ともに健康な人
- 依頼会員
(子育てを手伝って欲しい人)
 - ・市内に住んでいる人が通勤している人
 - ・0歳児～小学6年生までの子どもを育てている人

高岡市ファミリー・サポート・センター

※センターで子どもを預かることはできません。

こんな時に・・・

- 早朝出勤や残業などのときの送迎
- 保育園・幼稚園や学童保育が終わった後の預かり
- 子どもが軽い病気(風邪など)にかかったときなどの預かり
- 保護者の病気や通院のときの預かり
- 冠婚葬祭や兄弟・姉妹の行事(運動会など)のときの預かり

会員登録
依頼

紹介

会員登録

協力要請

依頼会員



協力会員

協力会員の自宅で預かります。



援助の提供

報酬

富山市ファミリー・サポート・センター

会員の声

協力会員の声

☆何十年ぶりに子どもとふれあうことで、忘れていた時間を思い出しながら楽しんでいます。

☆学童保育後、家族の方の仕事が終わる時間までのお話をしています。家にいるときと同じような生活ができるように心がけています。自分の子どもたちとも仲良くなり、おつかいや季節ごとの体験を楽しんでいます。

依頼会員の声

☆フルタイム勤務なので、子どもの急な発熱での保育園のお迎えや、早朝出勤時の病時保育所への送迎をお願いします。サポーターの方から子どもだけでなく親も良い影響を受けています。

■ 利用金額(報酬)

基本時間 (月～金7:00～19:00)	700円/時間
基本時間外(月～金19:00～)	900円/時間
土・日・祝日・年末年始	900円/時間
軽度の病時保育	900円/時間

※複数の子どもを預ける場合は、2人目から報酬が半額

■ お問い合わせ先

高岡市ファミリー・サポート・センター
(高岡市昭和町1-2-9 アバンサルプラザ高岡)
(月～金曜日 午前9時～午後5時)
TEL 0766-23-6116

センターに登録している団体が集まって“Eネット”が結成されました。団体間の情報交換やイベントなど、活発に活動されています。あなたのグループも登録しませんか？

センター登録活動団体紹介

富山県男女共同参画推進員高岡連絡会

「富山県男女共同参画推進条例」に基づき地域での実践の核として位置づけられ、高岡市内26小学校区より推薦を受けた男女52名で男女平等・共同参画社会を目指して「気づき」「学び」「広める」活動をしています。様々な社会問題が人権・差別に基づくものという認識を持ち、男女平等・共同参画が重要なものだという事を、広く県民に伝えることを目的としています。

グループEye

男女平等の視点で「高岡から情報(web)発信しよう!」と女性が中心になって発足し、現在は、男性も加わって活動しています。テーマを「まちづくり・子育て・女性情報」とし、他のグループとの交流を通してホームページの内容も少しずつ充実させ、たくさんの方に関心を持ってもらえる活動を目指しています。

http://www.geocities.jp/group_eye/

コモン塾

年齢・経験・環境・生き方など重なるところの少ない会員が、一人ひとりにとっての「男女共同参画」を探っています。5年連続した市民企画講座「すてきな生き方をしてみよう」を企画・開催しています。講座を通して学んだ、一人ひとりの「小さな『男女共同参画』の1歩」が、より多くのいろいろな立場の人に広がることを願って活動しています。

クリニックリストの会“いと”

産婦人科病院・医院を選ぶ際の参考にと、「クリニックリスト」(受診した経験や感想をアンケート形式で記入した口コミ情報)の閲覧を2000年に始めました。女性からだもこころも健康で一生を過ごすお手伝いが出来ればと思って活動しています。リストは毎月公開し、学習会・講演会・おしゃべり会なども開催しています。

<http://cliniclist-ito.hp.infoseek.co.jp/>



上記の団体・グループ以外もセンターのホームページで紹介しています。

2005年
8月末現在の登録
40団体



たお客さんから出演依頼を頂き、宴会・お祭り・ライブ活動・ボランティア活動、はたまたCM出演等、様々な場所で演奏するようになり、噂が噂を呼んでか「知り合いに聞いた」など、突然電話での依頼などもあり、演奏活動による人との繋がりを、身をもって感じる事ができています。皆さんありがとうございます。僕はとても幸せ者です。

男だから…女だから…そのような言葉にとられて生活しますが、重要なのはその人らしさではないでしょうか。また一個人としても、男らしさ女らしさにとられず、自分自身を高めていく努力が必要だし、それに伴って社会全体も努力していかなければならないと、僕は思います。

僕も彼女も、また今日もストリート活動を続けています。

JR高岡駅地下街でストリートライブ活動を始めて、約二年になりました。活動を続けるうちに今まで素通りしていた通勤帰りの方々が、「がんばれよ」と声をかけてくださるようになりなりました。

また、演奏を聴いてくださったお客さんから出演依頼を頂き、宴会・お祭り・ライブ活動・ボランティア活動、はたまたCM出演等、様々な場所で演奏するようになり、噂が噂を呼んでか「知り合いに聞いた」など、突然電話での依頼などもあり、演奏活動による人との繋がりを、身をもって感じる事ができています。皆さんありがとうございます。僕はとても幸せ者です。

多くの方々に声援を頂き、ここまで何とか活動を続けるうちに、ストリート仲間が一人増え、二人で演奏する機会も増えてきました。一緒にストリート演奏しているのは女性ですが、時間帯が夜の九時頃から十二時頃と夜遅い為か、当初はお客さんに「女の子ながいから夜こんなとこにおらんと、早く家に帰れ」と、声をかけられることがしばしばありました。そういえば僕はそんな言葉をかけられた事はありません。言われるとしたら「男ながいから会社行って働け」です(僕の「会社」は高岡駅地下街なのですが)。そのことを彼女に聞いてみましたが、大学でそういう勉強もしたらしく、特に何も思っていないようで「昔はそんな教育だったから」と意外にあっさりしています。



きときと発信 わかもん

市内に勤務する、元高な(いぼのわかいもん)からの発信です

ストリート活動を通して

中山孝志 (津軽三味線奏者)

「高岡大仏のように地元に着きたい」と高岡駅地下でストリート活動を行いながらイベント、ライブ等、様々な場所での演奏を行う。

セピア色の 写真から

「県内初の女性記者」

先生の一言が少女たちの背中を押した

渡邊 はりい

(結婚姓・西藤 一九〇三―一九九二)



高岡新報社員の懇親会にて
(手前左端が渡邊はりい)

一九一九(大正八)年、「県立高岡高等女学校」第四代校長丹沢美助の「近世文明は女性を依頼より独立へ、奴隷より人格者へと導いた。私の使命は皆さまの友となり、日本婦人の地位と活動と力と人格とを高め……」という着任の言葉は、大正デモクラシーの息吹を伝える、少女たちの目をキラキラと輝かせるものだった。

それは、ベアテ・シロタ・ゴードンの尽力で、日本国憲法に第二十四条「家族生活における個人の尊厳と両性の平等」が書かれた二十六年も前のことである。

「出会い 学びことは変わる」と

渡邊はりいは、西砺波郡林村に生まれ、出町小学校を卒業した後に県立高岡高等女学校(現在の県立高岡西高校)に入学している。

一九〇七(明治四十)年創立の同校は、呉西地区の女子中等教育の中心的な存在であり、他の高等女学校と同様、良妻賢母をつくるという使命をもって存在していた。しかし、少女たちにとっては、まだまだ古い慣習の残る外の世界から、その時だけは自由に、のびのびと学び、想像力を果てしなく掻き立てられる、そんな空間(学校)であったのも事実である。そしてはりいも、丹沢校長と出会う。

「結婚は男女の合意に基づくべきである。女性も一人の人間として生きるべき、

尊重されるべきである」

そんな校長の言葉は、その後の人生を決定づけたと、後にはりいは語っている。

一九二〇(大正九)年、女学校を卒業したはりいは上京し、東洋大学の聴講生となった。そして医師であった父がすでに他界していたことから、自活のために、飛び込みで直談判し、東京の「都内報社」という通信社に就職した。

探訪記者をつとめていた一九二二(大正十一年)年、関東大震災に遭遇。それを機に帰郷した。

結婚話が用意されていたが、「男女の合意に基づいた」結婚を考えていたはりいには既に心に決めた人(後の夫)がいた。しかし家族の反対にあつたため、自活の道を選ぶざるを得ず、一九二四(大正十三年)十月、「高岡新報社」の社長木津

太郎平宅に直接売り込みに行き、採用される。こうして女性自らその扉を開けることで、県内初の女性記者は誕生した。

内面的眞の自由の獲得

一九一八(大正七)年の「高岡新報社」米騒動報道で、騒動の全国波及のきっかけをつくつたのは主筆の井上江花だった。全国新聞記者大会に出席して、女性記者の活躍を知っていた彼が採用に積極的だったことも、はりいに幸いした。

入社してすぐ、県内新聞で初の「婦人欄」が設けられ、退社する翌一九二五(大正十四)年まで、「渡邊はりい」の署名記事は驚くほど多く、今でも高岡市立中央図書館で読むことができる。その視点は、「自分は束縛及び自由と云う意味を二重に考える：即ち内面的自由及び内面的束縛、外面的自由及び外面的束縛とある：万人の生活の理想は実にこの内面的眞の自由の獲得にある」

「内面的の眞の自由を求めて生きる事即ち内面的束縛と眞摯に戦う事それ自身が重要な問題」

と「婦人問題と其解説」(大正十四年一月一日号)で書いているように、常に女性の自己の確立を願うものであり、その原点は、女学校時代に出会った思想であったのではないかと推察できる。

記事は難しい解説ではなく、お茶の間口調で、他の土地から転住した人のインタビューを通して、高岡の女性の問題を浮き彫りにしている。また、「婦女会を訪ねて」のシリーズでは、高岡の女性リ

ーダーを訪ね歩いたり、一方、市川房枝など、時の女性運動家を紹介したりもしている。

生涯、新聞記者で生き抜く

一九二五(大正十四)年末、結婚して夫に伴って満州に渡つたはりいであったが、「満州日報」を皮切りに大連、奏天、ハルビンと終戦まで大陸で新聞記者として働いている。

当時のはりいの働く姿を、大陸での家と同じレンガ色の家で今も暮らす息子の西藤信治はよく覚えていてる。

「いつも唾えタバコをして原稿を書いていた。全て歩いて取材していたので、とても健脚だった。世の中のことをよく知っている母だったが、自分には何も言わず、独立独歩の人だった。」

戦後、高岡に引き上げてからも、「高岡市民新聞」(週刊)に入り、一九七五(昭和五十)年頃まで健筆を振るつた。

婦人参政権獲得運動や女性の地位向上などの政策的なことには実はあまり興味がなく、「我に徹した生活をなすこと」という「個の確立」を云つたはりいは、「女ばかりを相手にしていると気苦労が多く、うっとうしかった」という言葉も残している。果たして、はりいは現在の高岡の女性たちを見たら何と書くのか。

女学校での学びから終始「自己の確立」という理想を追いつづけた渡邊はりいは、一九九二(平成四)年その生涯を閉じている。

■参考 「近代史研究第10号」富山近代史研究会

「菊友薫りて」富山新聞社

「ある新聞人の生涯」河田稔著／新興出版

へらすま

高岡市男女平等推進センター

センターがら

あなたの気持ち聞かせて!

「自分流の結婚って?」

人生において、誰しも必ず一度は『結婚』について考えます。結婚する前、結婚しようとする時、結婚してからと、それぞれの時期にいろいろな思いや悩みを経験すると思います。そんな経験を全国の皆様より“提案”という形で募集します。結婚しているあなたも、結婚していないあなたも「結婚」について考えてみませんか?

下記ホームページで提案・投票ができます。また所定の応募用紙も取り出せますので、FAXでも受付します。多数投票のあった提案の応募者とそれに投票された方の中から厳正な審査により表彰します。

募集期間▶ 9/30(金)まで

展示期間▶ 11/30(水)まで

投票期間▶ 10/20(木)まで

男女平等EXPO 高岡

2005 TAKAOKA TOYAMA JAPAN



テーマは
結婚

■ご応募・お問い合わせ

男女平等EXPO高岡2005実行委員会事務局

TEL.0766(20)1810 FAX.0766(20)1815

EXPOホームページ <http://www.danjyo-byoudou.jp/>

男女平等EXPO高岡 表彰式

11月4日(金) 午後6時30分～

鍋田恭子・友井賢太郎夫妻による
トークショー、ミニコンサートなど

ところ ウイング・ウイング高岡4階
生涯学習センターホール

編集後記

新保 智子

ワーク(仕事)をする上での、土台であるライフ(生活)。このバランス(調和)が取れていますか?まずは、自分に問いかけたいと思います。

向 富士子

先人たちに学ぶことは多い。市職での育休取得第1号の山村さんの体験談が、次に続く人たちの背中を押すことになれば嬉しい。

澁谷 幸司

役割を 補ひながら 支へ合う 比翼の鳥の 羽はたく様に

瀬川 幸恵

生活のバランスを考えられる余裕のある社会を望みたいですね。

発行/高岡市男女平等推進センター

〒933-0023 高岡市末広町1-7(ウイング・ウイング高岡6階)
電話/0766-20-1810 FAX/0766-20-1815
E-mail/gec@office.city.takaoka.toyama.jp
ホームページ/http://www2.city-takaoka.jp/gec/

- 「ありて」は上記のHPでもご覧いただけます。
- この情報誌に関するご意見・ご感想をお待ちしております。

上へのチャレンジ支援事業

高岡でスタート!

実施期間

10月から
2006年2月まで

文部科学省の委託を受けて、調査力・企画立案力・提案力を身につけて「説得力をもって政策・意志決定の場に参画することのできる市民」となるための、調査・講座・講義を展開します。

どなたでも参加できます!

方針決定過程への参画に必要な資質向上を図るための実践的な研修を行い、その成果の普及をはかることを目的としています。

ステップアップ高岡実行委員会

問い合わせ先

TEL. 090-8746-3050(担当:向)

9/15からは、ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.senmaike.net/challenge/>

表紙イラスト:辻 弥生子さん

高岡市内で銅版画とフランス語教室を主宰し、現在は彫金・銅版画を中心に活動

ありてキャラクターデザイン:山崎 可菜さん

高岡市出身。金沢市在住の大学生

